

女性に寄り添う「支援の輪」づくり事業【佐賀県】

総事業費	9, 279 千円
交付金額	6, 959 千円

地域の実情と課題

【実情】(令和元年3月)

- ▶ 雇用者における非正規雇用: 男性35.9% 女性50.6%

【課題】

- ▶ コロナ禍で経済や生活への不安等が高まっているが、適切な相談・支援につがっていない女性が増えている。

目的・目標

【目的】

- ▶ 相談者の課題に対し、適切な相談・支援を行い、相談者の不安軽減・課題解決を図る。

【目標】

- ▶ ほっとカフェ参加者の満足度 目標80%(実績97.8%)

事業の特徴

- ▶ NPOによる困りごとを相談できる場（女性のためのほっとカフェ）の開設
- ▶ 社会福祉士による相談支援
- ▶ 女性用品等の配布

連携団体

女性に寄り添う「支援の輪」づくり事業連絡協議会

- ▶ 男女センター: 佐賀県男女共同参画センター(アバンセ)
- ▶ 社会福祉士: 佐賀県社会福祉士会
- ▶ NPO法人: 佐賀県放課後児童クラブ連絡会、
隣友の会、こすもす村、よりみちステーション、
唐津市子育て支援情報センター、CivicForce、
社団法人: スマイルキッズ

事業の効果

- ▶ ほっとカフェが参加者にとって、安心して過ごせる居場所・生活相談の場となった。
- ▶ ほっとカフェ運営者(社会福祉士等)の助言(相談機関へのつなぎ)が相談者の課題解決・不安軽減に役立った。

今後の課題

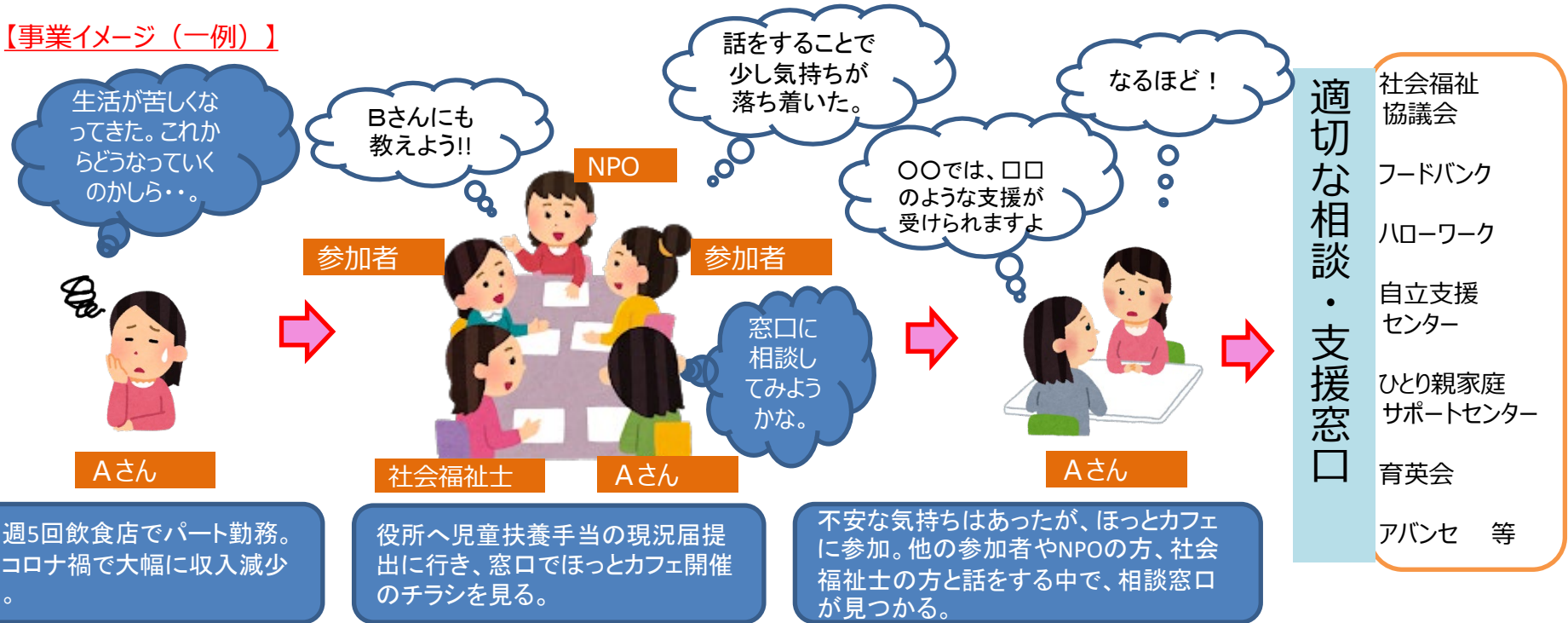
- ▶ 相談者(本人や家族)に困り感がないケースで支援者が相談者を支援機関につなげるための相談スキルの向上
- ▶ 相談者の複合的な課題に支援者(社会福祉士等)1名での対応が困難。多職種・他機関との連携体制の構築が必要。
- ▶ 参加者(相談者)に比べ支援者が少ない。支援者のネットワーク構築が必要。

女性に寄り添う「支援の輪」づくり事業

目的

NPO等が行う居場所づくり等の機会を活用し、その方が抱えるお困りごとを聞き出し、適切な相談・支援窓口につなぐ

【事業イメージ（一例）】



WHO（誰が）

主な対象者は、不安・困りごとを抱える女性

HOW（どのようにして）

ほっとカフェ開催を知るきっかけは、

- ・子ども宅食にチラシ同封
- ・民生委員によるポスティング
- ・学校養護教諭から案内
- ・ハローワーク(マザーズコーナー)等

WHERE（どこで）

NPO活動拠点等を活用したほっとカフェ

- ・市民会館にてほっとカフェ設置
- ・アバンセにてほっとカフェ設置
- ・オープンスペースにてほっとカフェ設置等